

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

玉城町教育委員会

玉城町教育委員会では、玉城町学力向上推進協議会を設置し、町内小・中学校の児童生徒の学力や学習状況を分析するとともに、成果と課題を検証して授業改善に生かす取組をおこなっています。以下の通り、分析結果について、良好な結果がみられたものを「強み」、課題がみられたものを「弱み」として表し、今後の取組についてまとめました。

1 調査の概要

- (1) 調査日 令和4年4月19日(火)
- (2) 対象 4小学校第6学年(147名)、中学校第3学年(136名)
- (3) 対象科目 小学校：国語・算数・理科 中学校：国語・数学・理科

2 教科に関する調査結果から

(1) 小学校

①国語科

	強み	弱み
田丸小	<ul style="list-style-type: none">・人物像や物語の全体像を具体的に想像して読み取ること・話し言葉と書き言葉との違いを理解すること	<ul style="list-style-type: none">・学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること
有田小	<ul style="list-style-type: none">・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと	<ul style="list-style-type: none">・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること・表現の効果を考えること・人物像や物語の全体像を具体的に想像すること
外城田小	<ul style="list-style-type: none">・話し言葉と書き言葉との違いを理解すること・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えること	<ul style="list-style-type: none">・表現の効果を考えること・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること
下外城田小	<ul style="list-style-type: none">・話し言葉と書き言葉との違いを理解すること・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること

②算数科

	強み	弱み
田丸小	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数に空位のある整数の乗法の計算 最後まで粘り強く回答する力があること（無回答率が低い） 	<ul style="list-style-type: none"> 割合や百分率の意味を理解し、場面から数量の関係をとらえて式に表すこと 図形の意味や性質を基に、図形の構成の仕方について考察し記述すること
有田小	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できること 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができること 	<ul style="list-style-type: none"> 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できること 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できること
外城田小	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数に空位のある整数の乗法の計算 百分率で表された割合を分数で表すことができること 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解していること 	<ul style="list-style-type: none"> 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解していること 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できること
下外城田小	<ul style="list-style-type: none"> 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解していること 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解していること 	<ul style="list-style-type: none"> 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できること 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができること

③理科

	強み	弱み
田丸小	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫の体のつくりを理解していること 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができること 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること
有田小	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができること 	<ul style="list-style-type: none"> メスシリンダーという器具を理解していること 水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解していること
外城田小	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができること メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けていること 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること 日光は直進することを理解していること
下外城田小	<ul style="list-style-type: none"> 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができること 問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録していること 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できること メスシリンダーという器具を理解していること

(2) 中学校

①国語科

【強み】

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫すること
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈すること
- ・行書の特徴を理解すること

【弱み】

- ・文脈に即して漢字を正しく書くこと
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に考えること

②数学科

【強み】

- ・自然数を素数の積で表すことができること
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができること
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができること
- ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができること

【弱み】

- ・反例の意味を理解していること

③理科

【強み】

- ・考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できること

【弱み】

- ・飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できること
- ・力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できること
- ・過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できること

3 児童生徒質問紙調査の結果から

(1) 小学校

【強み】

- ・友達と協力するのが楽しいと思っていること
- ・読書が好きな児童の割合が高いこと
- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりする機会が多いこと
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器の使用頻度が高いこと

【弱み】

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を長時間している児童の割合が高いこと
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴を長時間している児童の割合が高いこと（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

(2) 中学校

【強み】 ※肯定的回答をした生徒の割合が特に高かったもの

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていること
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じていること
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていること
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していること
- ・人が困っているときは、進んで助けていること
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できること
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じていること
- ・授業で、ICT機器をよく活用していること

【弱み】

- ・休日の学習時間が少ないこと

4 今後の取組

今回の調査結果を受けて、できなかつたことをできるようにするための取組を、各校で進めていきます。そのために、今回弱みとしてとらえたことを全職員で共有し、各学年の指導事項と照らし合わせたうえで、日々の授業改善に生かしていきます。小学校国語科においては、記述式で解答する問題の正答率が、全国と比べ低い傾向がみられました。町学力向上推進協議会では、まずはまとまった量の文章を読み解く経験が、一層必要であると分析しました。そこで、各校の読書教育を今一度見直し、読書時間の確保のほか、本に親しむ活動や読み物を中心に読書の質を高める取組の充実を図ることを確認しました。

また、家庭での学習時間が少なく、ゲームやSNS・動画視聴を長時間している児童・生徒の割合が高いという課題も明らかになりました。クロス集計結果によると、平日にゲームを全くしない・1時間より少ないと回答した児童・生徒の平均正答率は、長時間している児童・生徒よりも高く、両者に大きな差がみられました。中学校の定期テスト期間に合わせて実施している「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」の取組内容を見直して、今後も継続するとともに、家庭への啓発も一層進めていきます。